

小論文検定 2025 年第 1 回検定(前期・後期)の課題

スタンダードコース

4 級 / 5 級 / 6 級

制限字数=800字 時間=60分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 「デジタル教科書」について

2025 年 2 月、文部科学省の審議会はデジタル教科書を紙の教科書と同様に「正式な教科書」に位置づけることが適当とする中間案をまとめた。デジタル教科書とは検定試験を合格した紙の教科書をデジタル化したものでパソコンやタブレット端末で使用する。19 年 4 月から紙の教科書との併用が認められ、英語で実証事業が行われてきた。24 年度からは小学校 5 年生から中学校 3 年生の英語で本格導入され、算数・数学でも導入が進められている。デジタル教科書は動画や音声をはじめとするさまざまな機能により、学習の理解を進めたり主体的な学びにつなげたりする効果があるが、通信環境を整備する必要があることや、健康に与える影響、学習目的以外でタブレットを使用することの懸念などが課題とされている。

中間案では「紙だけ」「デジタルだけ」に加え、「紙とデジタルの併用」も認めるべきとの方向性が示されているが、あなたはその 3 つの中でどれが望ましいと考えるか。どれか一つを選んでその理由を具体的に示したうえで、800 字以内で述べよ。

マスターコース

1 級 / 2 級 / 3 級

制限字数=1200字 時間=90分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 「オーバーツーリズム」について

2024 年の訪日外国人旅行者（インバウンド）は過去最多であった 2019 年を上回り、3686 万人となった。観光客の増加は日本経済にプラスの影響を与える一方で、オーバーツーリズムの問題も深刻化している。オーバーツーリズムとは特定の観光地に観光客が集中することで、公共交通機関の混雑や交通渋滞、ごみの散乱や騒音問題などによって、地域住民の生活や自然環境・街の景観などが損なわれることである。

国はオーバーツーリズムの未然防止・抑制として、交通手段や観光インフラの充実、入域や交通の管理、観光客の時間帯・場所の分散、マナー違反行為の防止・抑制などへの取り組みに対して包括的な支援を実施する観光推進事業を実施している。各自治体や地域でもさまざまな取り組みが進められており、たとえば広島県廿日市市では 2023 年 10 月から受入環境整備などに活用する目的で観光客に対して宮島（厳島神社）訪問税を課している。

オーバーツーリズムの問題を解決するためにはどのような取り組みが必要であると考えるか。問題を一つ取り上げ、その解決策を 1200 字以内で述べよ。